

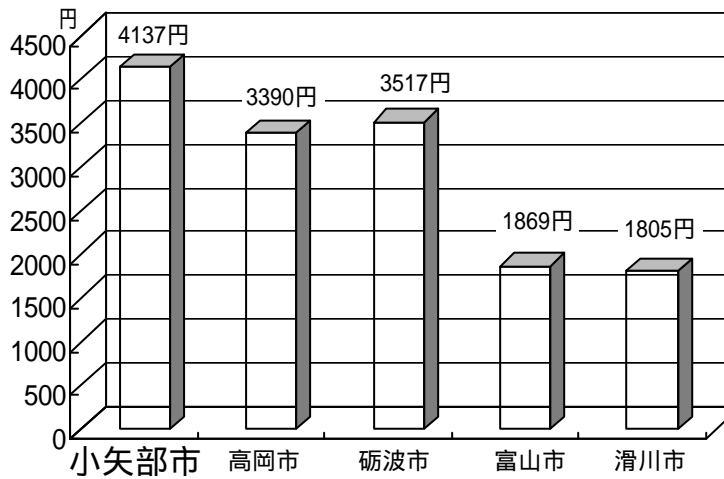
# 水道料金

# 値下げ署名にご協力を

小矢部市の水道料は県東部の市に比べ、  
2倍以上も高い。

下のグラフは、家庭用料金の比較  
(1ヶ月20m<sup>3</sup>あたり口径13ミリメーター使用料消費税含む)

同じ量を使っても、こんなに違う水道料金



## 値下げはできる

石川県では県水の値下げにより14市町で値下げが実現しました(「北陸中日」8月5日付)。

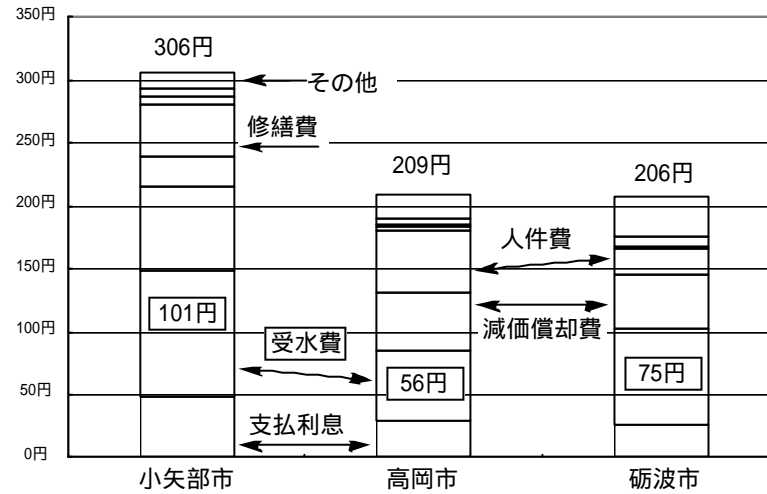
富山県企業局(水道事業)は最近、毎年2~3億円の黒字続きです。子撫川ダム建設時の借金返済がほぼ終るからです。

中沖知事も、県東部との料金格差の是正を研究したいと県議会で答弁しました(今年3月議会)。

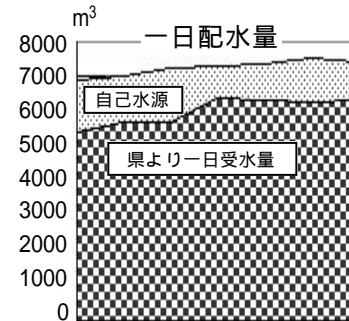
## なぜ高いの？

県企業局から子撫川ダムの高い水(県水)を必要以上に買っているからです。県東部の市では自己水源を使っています。小矢部市で給水原価に占める割合が一番多い受水費(県水購入費)は、高岡市より45円、砺波市より26円も高くなっています(下のグラフ)。

1m<sup>3</sup>あたりの給水原価



小矢部市も一日6500m<sup>3</sup>の自己水源を活用すれば、高い県水の使用を減らせます。



小矢部市で必要な一日配水量は7500m<sup>3</sup>です。

市の自己水源(井戸)は一日6500m<sup>3</sup>くみ上げ可能です。費用は電気代(1m<sup>3</sup>約6円)程度でごくわずかです。ところが、1200m<sup>3</sup>しか使わず、1m<sup>3</sup>あたり45円(県との受水協定)という高い県水を6300m<sup>3</sup>も買わされています。

## 私たちの要望

- 一、水道料金を引き下げること。
- 二、県企業局から購入している上水道用水の単価と責任受水量の大幅引き下げを強力に交渉し、実現すること。

水道料金の値下げを求める会

世話人 八尾三紀夫

(小矢部市野端250-16 電話67-3702)